

シンポジウム

沖縄に国立自然史博物館を！

～島嶼ネットワークの可能性を探る～

平成28年7月17日(日)

12:30～15:15(受付12:00～)

石垣市民会館大ホール

(事前申し込みの場合、実行委員会事務局に連絡下さい)

参加費不要

琉球列島には世界に誇れる自然が残されています。自然とともに生きる人々の営みも脈々と受け継がれています。この地の生物多様性と自然の懐の深さを研究し、全世界にアピールするための拠点(国立自然史博物館)が必要です。私たちは、沖縄の地に国立自然史博物館を設立することを目指して、これまで2回のシンポジウムを開催し、沖縄に造るべき国立自然史博物館についての現実を語り、そして新たな自然史博物館像を描いてきました。今回のシンポジウムは石垣市での開催となります。沖縄の中でも自然の豊かさが際立っている八重山の地で、島嶼を有機的に結びつけたネットワーク型の自然史博物館のあり方を論じてみようと考えています。

プログラム

12:30～12:35 主催者挨拶 西田 睦(琉球大学・理事・副学長)

第一部

12:35～14:05 講演 島嶼からの視点で沖縄に造るべき次世代型国立博物館について語り合おう！

花城良廣(沖縄美ら島財団・理事長)

島における国立自然史博物館の必要性

伊澤雅子(琉球大学理学部・教授)

島の多様性:イリオモテヤマネコを支える西表の生態系

渡辺 信(琉球大学熱帯生物圏研究センター・准教授)

勝手に次世代型博物館を考えてみた！

細 将貴(京都大学白眉センター・助教)

島の博物学:追うへび、逃げるカタツムリの右と左の共進化

菅 浩伸(九州大学大学院比較社会文化研究院・教授)

海の博物館:サンゴ礁がつくる八重山の海ー日本屈指の海底景観とその多様性ー

14:05～14:10 休憩

第二部

14:10～15:10 パネルディスカッション

司会 西田 睦(琉球大学・理事・副学長)

中瀬 勲(兵庫県立人と自然の博物館・館長)、島村賢正(アンパルの自然を守る会)

中山義隆(石垣市長)、花城良廣(沖縄美ら島財団・理事長)、岸本健雄(お茶の水女子大学・客員教授)、林 良博(国立科学博物館・館長)、謝名堂聡(沖縄県環境部・参事)

15:10～15:15 閉会挨拶 馬渡駿介(北海道大学・名誉教授)

主催:シンポジウム「沖縄に国立自然史博物館を！」実行委員会

共催:琉球大学、沖縄科学技術大学院大学、沖縄美ら島財団、沖縄生物学会、石垣市、竹富町、与那国町

後援:沖縄県、PROJECT.y、平成26～28年度科学研究費補助金基盤(B)「自然史財の総合的研究」(研究代表者:馬渡駿介)、
檳原市

問い合わせ先

琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内

シンポジウム「沖縄に国立自然史博物館を！」実行委員会事務局

電話:098-895-8993

E-mail: takemura@sci.u-ryukyu.ac.jp